

市長記者会見

期 日 平成31年1月25日（金）

時 間 午前10時～

場 所 執行部控室

発表内容

1 新潟開港150周年を記念した宝くじの発売について (財務課)

2 都市計画道路 新潟鳥屋野線の一部供用開始について

(新潟駅周辺整備事務所)

※ 「G20 新潟農業大臣会合」に向けた取り組みについて

(2019年G20サミット推進課)

※ 「新潟市総合ハザードマップ」の全戸配布について

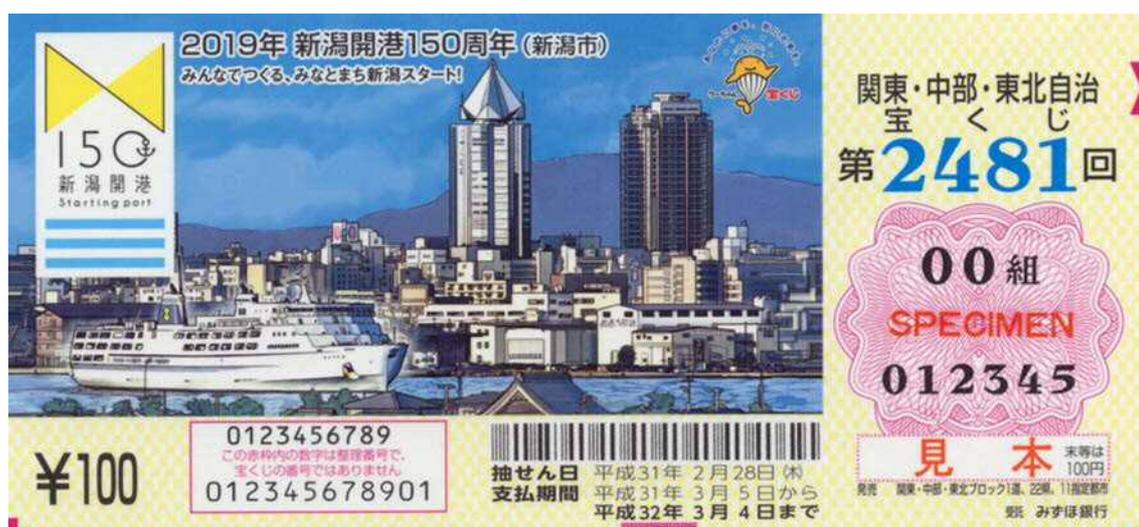
(防災課)

平成31年1月25日
新潟市記者発表資料

新潟開港150周年を記念した宝くじの発売について

新潟開港150周年を記念して、「みなとまち新潟」の風景が図柄に採用された「関東・中部・東北自治宝くじ」が、2月13日から発売されます。

- 名称 第2481回関東・中部・東北自治宝くじ
- 販売期間 平成31年2月13日(水)～26日(火)
- 価格 100円
- 賞金
1等 1,000万円 2本
前後賞 250万円 4本
2等 30万円 50本 など
- 販売地域 東京都を除く関東、中部、東北及び北海道
- 販売場所 宝くじ売場
- 図柄見本



お問い合わせ先

新潟市財務課資金室 (担当 岩谷)

電話025-226-2203 (直通)

都市計画道路 新潟鳥屋野線 2019年5月中旬に一部供用を開始します。

新潟駅周辺整備事業により、八千代橋と笹出線を結ぶ4車線道路として整備を進めている都市計画道路 新潟鳥屋野線について、今年5月中旬に2車線で一部供用を開始することとしました。(具体的な供用開始日は改めてお知らせいたします。) なお、新潟鳥屋野線は2019年度中の4車線全面供用開始に向けて引き続き工事を進めていきます。

〔位置図〕



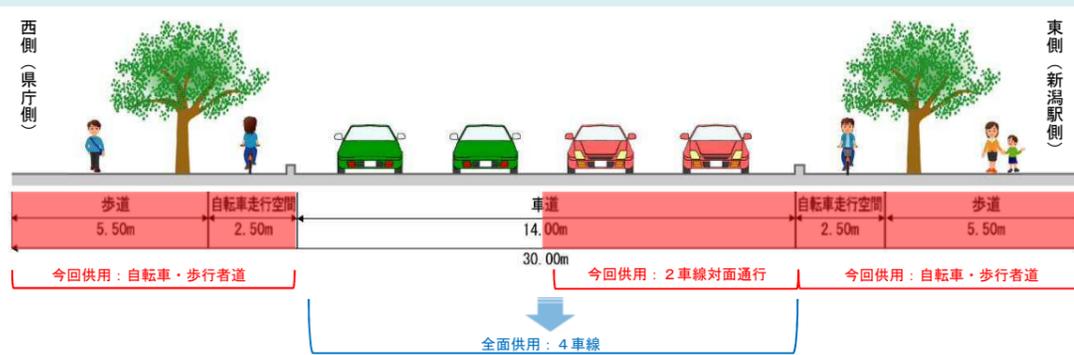
〔事業概要〕

- ・事業区間 中央区八千代1丁目～中央区米山
- ・延長 819m
- ・幅員 30m
- ・車線数 4車線 (今回供用は2車線)
- ・事業期間 2006年度～2019年度

〔供用開始による主な効果〕

- ・鉄道を挟んだ南北市街地の連続性及びアクセス機能の向上
- ・駅を拠点とした道路ネットワークの形成による交通の円滑化
- ・自動車交通と歩行者、自転車の分離による安全性及び利便性の向上

〔標準横断面図 (4車線完成時)〕



今回供用時の供用部分 (車道2車線及び歩道等)

〔平面図〕



〔完成イメージ (4車線完成時)〕



【お問い合わせ先】

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所 伊藤 敏 電話：025-245-1251

あなたはどのくらい知っていますか？

数字で見る新潟の豆知識！

世界とつながる新潟編

国際

姉妹・友好都市
及び交流協定都市
5か国7都市
【新潟市】(H30)



ガルベストン(米)、ハバロフスク(露)、
ハルビン(中)、ウラジオストク(露)、ピロ
ピジャン(露)、ナント(仏)、ウルサン(韓)

新潟港開港から
150年
【新潟県】(H31)



新潟港は1869年(明治元年)に
開港5港の一つとして世界に開か
れた、歴史的な国際貿易港です。

外国人居住者数
約1万2,000人
【新潟県】(H27)



総務省統計局「国勢調査結果」

平均すると、
1日あたり約860人の
外国人が新潟県に
宿泊していること
になります！



外国人延べ宿泊数(年間)
約32万人泊
【新潟県】(H29)



国土交通省観光庁宿泊旅行統計調査

総領事館
3カ所
【新潟市】(H30)



●大韓民国総領事館
●ロシア連邦総領事館
●中華人民共和国総領事館

国際会議の開催(年間)
27件
【新潟県】(H28)



日本政府観光局(UNTO)国際会議統計

「食と農の 新潟自慢」編

農業・食

新潟が全国**1位!**

米の産出額



1,484億円
【新潟県】(H28)

農林水産省大臣官房統計部「農業産出額
及び生産農業所得(都道府県別)」

えだまめ作付面積



1,570ha
【新潟県】(H28)

農林水産省大臣官房統計部
「野菜生産出荷統計」

米菓出荷額



約1,946億円
【新潟県】(H28)

総務省・経済産業省「経済センサス-活動
調査 産別集計(製造業)結果」

生鮮野菜購入数量



年間約204kg
【新潟市】(H27-29)

総務省統計局家計調査(二人以上の
世帯)・品目別都道府県庁所在地及び
政令指定都市ランキング

なす作付面積



620ha
【新潟県】(H28)

農林水産省大臣官房統計部
「野菜生産出荷統計」

チューリップ(切り花)
産出額



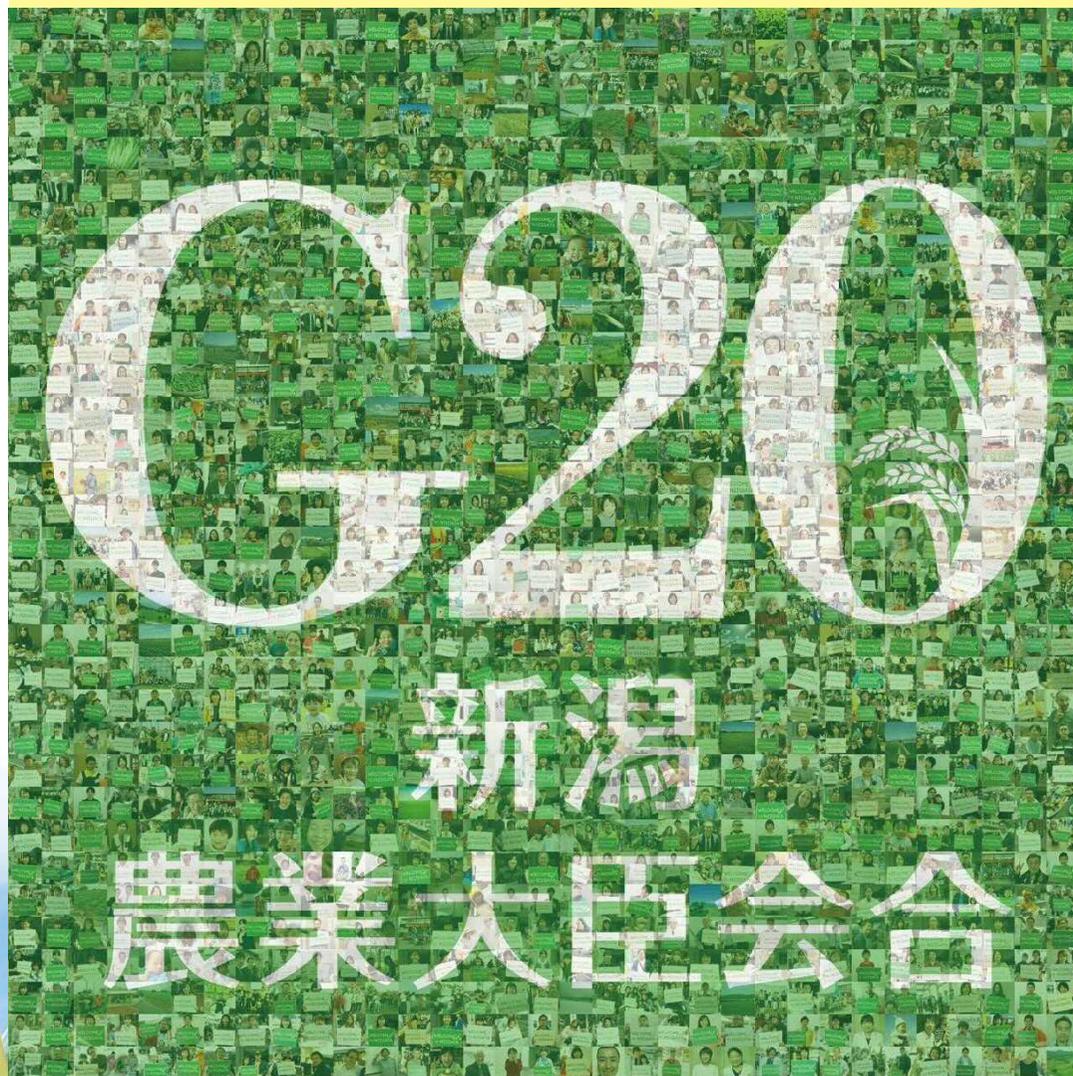
6億円
【新潟県】(H28)

農林水産省大臣官房統計部
「花木等生産状況調査」

チューリップは、
「新潟県の花」
「新潟市の花」で
もあるんだって



G20新潟農業大臣会合ってなんだろう？



G20 NIIGATA Agriculture Ministers' Meeting

2019年**5月11日**土・**12日**日 会場 朱鷺メッセ



G20を
みんなの笑顔
で迎えよう

このパンフレットの表紙には『みんなで作る「G20」モザイクアートプロジェクト』で
新潟の皆様から寄せられた笑顔の写真が使用されています。

G20新潟農業大臣会合開催推進協議会 (事務局:新潟市地域・魅力創造部2019年G20サミット推進課内)

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1

TEL: 025-226-2152 (直通) FAX: 025-224-3850 <https://g20niigata.jp>



G20 (Group of Twenty) とは?

G20サミット(金融・世界経済に関する首脳会合)は、G20メンバー国の首脳が参加して毎年開催される国際会議です。主な議題は経済に関することで、最近では世界経済や気候・エネルギー、デジタル、雇用などの議題が取り上げられています。

G20メンバー国



日本が初めて議長国をつとめる 2019年G20大阪サミット

2019年には、日本が初めて議長国となり、「G20大阪サミット」が開催されます。G20メンバー国の首脳に加え、招待国の首脳や国際機関の代表が参加し、日本で行われるサミットとしては史上最大規模となります。

大阪市で開催されるサミットのほか、新潟市の農業大臣会合など、日本各地で8つの関係閣僚会合が開催されます。



「サミットは、「山の頂上」という意味の英語です。」

G20サミット、関係閣僚会合の開催地・日程



5月に開催される「G20新潟農業大臣会合」は、各会合の中で最初に開催されます!

新潟と国際会議

新潟では2018年までに、複数の国の大臣等が参加する大規模な国際会議が3回開催されています。

- 2008年5月11-13日: G8労働大臣会合 (新潟市)
 - 参加各国・機関代表
 - お茶の振る舞い
- 2010年10月15-17日: APEC食料安全保障担当大臣会合 (新潟市)
 - 会議場の様子
 - 習慶夕食会でのおもてなし
- 2016年4月23-24日: G7農業大臣会合 (新潟市)
 - 現地視察
 - 子供たちによる大臣のお出迎え

新潟ならではのおもてなしで歓迎しました。

参加国の大臣等に歓迎行事やレセプション、視察などで新潟の魅力を伝えてきました。

新潟と農業・食

新潟には、世界に誇れる農業の取り組みや食の魅力がたくさんあります。

新潟県

新潟県は、豊かな自然と恵まれた気候、生産者の創意工夫により米を中心とした様々な農産物を生産する食料供給県です。

コシヒカリや新品種の「新之助」をはじめとする新潟米は、トップブランドとして広く認知されるとともに、米菓や切餅・包装餅の出荷額でも全国トップを誇っており、日本酒を含め、米を中心とした食品産業が基幹産業となっています。

また、米以外にも、様々な野菜や果物、畜産物、水産物が産出されており、県で育成したいちご品種の「越後姫」や、フランスで生まれ新潟で育った西洋梨「ル・レクチエ」など市場から高く評価されている品目も多数あります。



日本酒

ル・レクチエ

新潟市

新潟市は、コシヒカリなどの米をはじめ、さまざまな野菜、果樹、花きなど魅力的な農産物の生産や、米菓、酒、発酵食品などを作る食品関連産業が盛んな「食と農のまち」です。

2011年から「ニューフードバレー構想」を立ち上げ、農業を含めた食産業全体が互いに連携して発展するまちづくりを進めています。2014年には、大規模農業の改革拠点として「国家戦略特区」に指定され、企業の農業参入や農家レストラン、特区民泊などが実現しました。



全国初の特別農業法人「㈱ローゼンファーム新潟」



全国初の農家レストラン「ラ・ビステッカ」

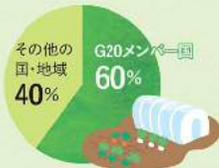
G20の「農業大臣会合」とは?

G20メンバー国の農業大臣や国際機関の代表等が、世界の農業の課題などについて議論する会議です。世界的な食料価格の乱高下に際し、食料安全保障の確保を目的として、2011年にフランスで開催されたのが始まります。2019年は「農業・食品分野の持続可能性に向けて - 新たな課題とグッドプラクティス」をテーマに議論されます。

G20メンバー国は、全世界の農地の約6割、農産物貿易の約8割を占めています。

世界の農用地面積に占める割合 (2015年)

世界の農産物貿易額に占める割合 (2013年)



出典 総務省「世界の統計2018」



出典 FAOSTAT

2019年は新潟市の朱鷺メッセで開催

世界各国から数多くの代表団等が来県するため、新潟が誇るおもてなしや食と農と文化の魅力を世界に発信する絶好の機会となります。



朱鷺メッセ

G20新潟農業大臣会合開催記念「みんなのプロジェクト応援成事業」助成金交付決定事業一覧

※ 申請書に基づく事業概要を実施期間順（予定）に掲載。今後、事業内容等が変更となる場合があります。

NO	事業名	事業者	事業内容	実施期間	実施場所
1	G20新潟農業大臣会合開催記念シンポジウム「世界と日本の農業と食料需給」ーその課題と展望ー	公益財団法人食の新潟国際賞財団	G20新潟農業大臣会合で討議が予想される「世界の農業と食料問題」をテーマに、食料及び農業分野において専門かつ著名な講師によるシンポジウムを開催する。 【主な内容】 (第1部) 基調報告・基調講演 (第2部) パネルディスカッション (主な講演者等) ・農林水産省 大臣官房 総括審議官 ・国際連合食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所長 ・新潟食料農業大学 学長 等	2019年2月4日	ホテルイタリア軒 (新潟市中央区)
2	G20新潟農業大臣会合開催記念『立ち喰い梅干し屋×BILLBOARD PLACE「梅干しで見る新潟と世界の食文化」』	新潟交通株式会社	首都圏の主要商業施設を中心に開催され人気を博している「立ち喰い梅干し屋」の万代ビルボードプレイスでの開催に合わせ、G20新潟農業大臣会合開催を記念し、「立ち喰い梅干し屋」と飲食店「FARM TABLE SUZU」によるコラボレーションイベント等を開催する。 【主な内容】 ①梅干しNight 江南区産「藤五郎梅」を使用したイベントの開催 ②飲食店での梅干しコラボメニューの提供	2019年3月21日～ 3月31日	万代シテイBP2 2F 「FARM TABLE SUZU」 (新潟市中央区)
3	G20新潟農業大臣会合開催記念にいがた花絵プロジェクト 2019メイン事業	にいがた花絵プロジェクト実行委員会	「新潟市の花 チューリップでG20をお祝いしよう」をテーマに、4月末の会合直前及び大型連休に合わせ、県民・市民のボランティアを募り、チューリップで巨大花絵を製作する。 【主な内容】 ボランティア参加者がチューリップ畑で自ら花を摘み、新潟駅南口中央広場で巨大壁画を作成する。デザイン画のテーマを「G20」関連（食や農業）として募集し、花絵で世界地図を作りG20参加国の国旗を飾る。	2019年4月29日～ 5月2日	新潟駅南口広場 (新潟市中央区)
4	G20新潟農業大臣会合開催記念「Agri Fes NIIGATA～未来に渡したい農業の形～」	株式会社新潟日報社	G20新潟農業大臣会合開催をきっかけに、重労働・非効率といった旧来の農業イメージを払拭するため、最新の農業技術や新たな成功事例を農業従事者のみならず、広く県民・市民に紹介する。 【主な内容】 最新農業機械の展示、最新の農業技術やこれからの農業の可能性についての講演やパネルトーク、関連パネル展示、農産物や加工品のマルシェを開催する。	2019年5月11日、 12日	新潟日報 メディアシップ (新潟市中央区)

公益財団法人 食の新潟国際賞財団 新春講演会

G20新潟農業大臣会合開催記念シンポジウム

「世界と日本の農業と食料需給」 —その課題と展望—

日時 2019年2月4日(月) 13:30~17:00

会場 ホテル イタリア軒 3階 サンマルコ
(新潟市中央区西堀通7番町1574)

定員 120名(無料)

記念シンポジウムは2019年5月に新潟市に於いて開催される「G20新潟農業大臣会合」を記念して新潟市で開催される意義と会合での討議が予想される「世界の農業と食料問題」をテーマに専門家をお招きして開催いたします。



是非この機会に世界の農業と食料問題、食料安保などについて考える機会として多くの皆様からご聴講いただきますようご案内いたします。

《 第1部 基調報告・基調講演 》

| 来賓御挨拶・基調講演



農業・食料をめぐる情勢と今後の対応方向について(仮題)

農林水産省 大臣官房

総括審議官 横山 紳 氏

| 特別報告



世界の食料安全保障の現状 —SDG2 ゼロハンガー達成に向けて—

国際連合食糧農業機関(FAO)

駐日連絡事務所長 ボリコ M. チャールズ 氏

| 基調講演



世界と日本農業と食料需給
—その展望と課題—

(株)資源・食料問題研究所

代表 柴田 明夫 氏



グローバル化時代の食料安全保障

(一社)共同通信社 編集委員兼岐
阜支局長/農政ジャーナリストの会

会長 石井 勇人 氏

《 第2部 パネルディスカッション 》



テーマ:「世界の食の安全保障と飢餓撲滅へ今できること」

ファシリテーター: 渡辺 好明 氏(新潟食料農業大学 学長 / 元農林水産事務次官)

パネラー: 第1部 講演者 4名(横山氏、ボリコ氏、柴田氏、石井氏)

主催 公益財団法人 食の新潟国際賞財団

後援 新潟市、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞社新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、日本食糧新聞社、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21

お問合せ 公益財団法人 食の新潟国際賞財団 事務局 (〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目425番地9)
電話: 025-201-8901 FAX: 025-201-8902 メール: info@niigata-award.jp
ホームページ: <http://www.niigata-award.jp>



新春講演会 申込書

日時：2019年2月4日(火)
13時30分～17時
会場：ホテル イタリア件
3階 サンマルコ
入場無料

お申込み方法

- 以下の「お申込み用紙」にご記入の上、2019年1月28日(月)までにFAXにてお申込みください。Eメールでのお申込みも受付けております。
- 先着120名で定員になり次第、締切とさせていただきます。超過の場合のみご連絡いたします。
- 入場整理券は発行いたしません。当日直接会場受付へお越しください。(13時～受付開始)
- ご記入いただいた個人情報は、当財団主催事業の開催のご紹介などに使用させていただきます。

講演会申込書 送付先 ▶ FAX 025-201-8902
Eメールでのお申込みの場合 ▶ E-mail info@niigata-award.jp

●お申込み用紙

個人・会社・団体名	
連絡先	〒
TEL	
E-mail	
参加者氏名(会社・団体の方)	所属・役職(会社・団体の方)

お問い合わせ

運営事務局

公益財団法人
食の新潟国際賞財団

〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目 425 番地 9
新潟市白山浦庁舎1号棟4階
電話：025-201-8901 FAX：025-201-8902
メール：info@niigata-award.jp



あなたのデザインが巨大花絵になります!

デザイン画大募集

G20 新潟農業大臣会合開催記念

2019年のデザインテーマは

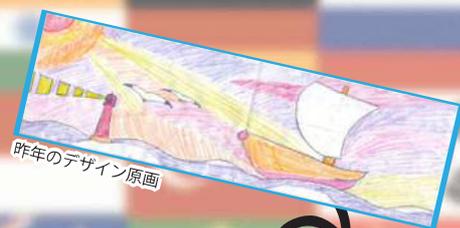
「おいしい!」です。

花絵とは、球根育成のため、捨てられてしまうチューリップの花を利用して制作する壁画です。今年で27年目を迎えるこの花絵は、今では新潟市の春の風物詩となっています。最優秀作品は、4月29日に新潟駅南口中央広場で巨大壁画(縦3.6m×横10.8m)として制作、展示いたします。

チューリップ畑でお花を摘んで～♪



チューリップをボードに挿して♪



完成で～す!!



※完成写真は、あくまで2018年のイメージです。

※当事業は、G20新潟農業大臣会合開催推進協議会からの助成金で実施しています

応募締切
賞

2019年3月1日(金) ※消印有効

最優秀賞1点 (賞金1万円、新潟産チューリップ球根)
入賞 約10点(新潟産チューリップ球根)

応募用紙
彩色
応募方法

応募規定
及び
注意事項

縦10cm×横30cmの白色用紙
赤、白、黄、ピンク、オレンジ、紫の6色
3月1日(金)(消印有効)までに、作品を台紙に貼り付けず、作品の裏面に作品タイトル、〒住所、氏名、電話番号、年齢を記入し、にいがた花絵プロジェクト実行員会事務局へ郵送。
・気候の関係で6色揃わない場合は、作品を修正させていただくことがあります。
・今年のデザインテーマは「おいしい!」です。斬新なデザインの作品を求めます。
・未発表のオリジナル作品に限ります。
(受賞決定後でも、会の方で著しい類似が見つかった場合には受賞を取り消させて頂く場合があります。)
・応募点数、制限はありません。
・応募作品の返却はいたしません。
・応募はプロ、アマ問いません。
・入賞作品の全ての権利は主催者に帰属いたします。
・結果は3月下旬、受賞者に通知、ホームページで発表します。

